

おぢや

市議会だより



OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 73

26.7.25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505



錦鯉の里

平成元年10月に開館し、現在約250尾の錦鯉を鑑賞できます。庭園の池に泳ぐ錦鯉は、主に錦鯉オーナーの所有です。オーナーは1尾3万円または5万円で購入し、飼育を錦鯉の里が担当しています。原産地の錦鯉を所有できることが好評で、全国から申し込みがあります。

所在地：小千谷市城内1丁目8番22号

- 第2回定例会議決結果 …… P2
- 常任委員会報告 …… P2~3
- 一般質問 …… P3~5
- 議会日誌 …… P6
- 雪あかり、編集後記 …… P6

—主な掲載内容—

平成26年小千谷市議会
第2回定例会
議決結果

6月10日から27日まで開催され、次のとおり議決されました。

条例の改正

○小千谷市火災予防条例の一部改正 (全会一致)

予算の補正

○平成26年度小千谷市一般会計補正予算(第1号) (全会一致)

○平成26年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第1号) (全会一致)

その他

○専決処分(小千谷市税条例の一部改正) (全会一致)
 ○専決処分(小千谷市都市計画税条例の一部改正) (全会一致)

○専決処分(小千谷市国民健康保険税条例の一部改正) (全会一致)

○専決処分(小千谷市老人医療費助成に関する条例の一部改正) (起立多数)

○専決処分(平成25年度小千谷市一般会計補正予算(第7号)) (全会一致)

○契約の締結(変更)(市庁舎耐震化(建築主体)工事) (全会一致)

○財産の取得(小・中学校教育用コンピュータ) (全会一致)

○小千谷市監査委員(佐藤昭夫氏)の選任 (全員同意)

○小千谷市固定資産評価審査委員会委員(小杉裕美子氏)の選任 (全員同意)

○小千谷市農業委員会委員の選任による委員(柳田宏光氏、横田外一氏)の推薦 (全会一致)

○「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める請願 (採択)

○30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出を求める請願 (採択)

○集団的自衛権をめぐる憲法解釈に関する意見書の提出を求める請願 (不採択)

発議

○流雪のための揚水機場新設に伴う水利使用許可についての意見書 (起立多数)

○「手話言語法」制定を求める意見書 (全会一致)

○30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書 (全会一致)

議員永年表彰者

全国市議会議長会
 北信越市議会議長会
 15年表彰 風間 順一

会議録の閲覧

市議会本会議の会議録(平成15年第1回定例会以降)は市ホームページからご覧いただけます。会議録はパソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。
 (平成26年第2回定例会の会議録掲載は、8月末頃となります。)

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>

常任委員会報告

総務文教委員会

るものです。

○議案第57号 平成26年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第1号)について
 本案は、新潟県発注の道路工事に伴う、移転工事の補償金及び埋設管の移転工事費の増額であり、国道117号千谷バイパス建設に伴い、支障となる工業用水道導管の布設替工事費及び補償金の増額をします。

本委員会に付託されました議案3件のうち2件は総務文教委員会単独で、1件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。また、

請願2件については、1件は採択すべきものとし、1件は採択しないものと決しました。
 ○議案第55号 小千谷市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、「消防法施行令の一部を改正する政令」が公布されたことに伴い、「小千谷市火災予防条例」に新たに祭礼、縁日等における火気使用器具の取扱いに関する規定の整備のほか、屋外催しに係る防火管理を義務付けするための条例改正であります。

本請願は、豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級の実現と、全国どこに住んでいても教育の機会均等が担保され、教育水準の維持・向上を図ることを求める意見書を国の関係機関に提出してもらいたいとするものです。

○議案第56号 平成26年度小千谷市一般会計補正予算(第1号)について
 今回の補正は、歳入歳出それぞれ1億524万4千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ179億9524万4千円とす

○請願第5号 集団的自衛権をめぐる憲法解釈に関する意見書の提出を求める請願
 本請願は、立憲主義を堅持する立場から、閣議決定により憲法解釈を変更し、集団的自衛権の行使を容認しないことを求める意見書を政府に提出してもらいたいとするものです。

○請願第5号 集団的自衛権をめぐる憲法解釈に関する意見書の提出を求める請願
 本請願は、立憲主義を堅持する立場から、閣議決定により憲法解釈を変更し、集団的自衛権の行使を容認しないことを求める意見書を政府に提出してもらいたいとするものです。

○請願第5号 集団的自衛権をめぐる憲法解釈に関する意見書の提出を求める請願
 本請願は、立憲主義を堅持する立場から、閣議決定により憲法解釈を変更し、集団的自衛権の行使を容認しないことを求める意見書を政府に提出してもらいたいとするものです。

民生産業委員会

本委員会に付託されました請願1件について、慎重に審査した結果、採択すべきものと決しました。

○請願第3号「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める請願

本請願は、手話が音声言語と対等な言語であることを国民に広め、聞こえない子どもが手話に身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした法律の制定を求める意見書を政府関係機関等に提出してもらいたいとするものです。

市議会議員 山本道男氏が逝去

山本道男市議会議員（船岡1）が7月9日（水）逝去さ



れました。67歳でした。

山本氏は平成23年に市議会議員に初当選され、総務文教委員会などの委員として、市政の発展に貢献されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈りいたします。

議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。

本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。

（録画映像は本会議終了後、通常、休日（土日・祝祭日等）を除く5日後から、この本会議の会議録が市議会ホームページに掲載されるまでの間ご覧いただけます。）

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

市政の内容を聞く

一般質問

東山地区の子育て・教育などについて

久保田陽一 議員

質問 里山子育て支援広場木のこんについての評価・見解は。

答弁 子どもが自然の中で仲間と遊び、たくさんの新たな経験を重ねることで豊かな感性と自主性や社会性が育まれ、心と体のバランスのとれた発達を促すものと考える。小千谷の自然を通じて育つことで小千谷市を思う人材が育ち、将来を支えてくれるものと考えており、木のこんの子育て方針を評価するとともに今後の活動に期待している。

質問 今後も積極的な支援、協力が必要では。

答弁 木のこんの主体性を大切にするのが肝心で、必要以上の関与はしないが、木のこんがで

きない市民への情報提供などの協力は今後も行いたい。



里山子育て支援広場（木のこん）

質問 東山小学校は今後も小千谷市に必要な学校だと思いが。

教育長答弁 当面の新たな統合計画は、現段階では持つていない。

質問 東山小学校存続には特認校制度の導入が必須だと思いが。

教育長答弁 東山小学校の更なる発展のために特色を活かしながら児童数を増やせるよう、特認校制度の導入も含め研究していく。

質問 特認校制導入の場合、どの制度を取り入れるのか。

教育長答弁 今後の研究の過程で検討すべきと考える。

質問 屋内型の子育て支援施設の設定が必要では。

答弁 子育て支援策の必須要件ではないと思うので、今のところ

る設置は考えていない。必要とするならば、既存の公共施設の利用を優先したい。

質問 建設予定の防災公園に屋内型子育て支援施設の設定は。

答弁 長岡市の施設ぐんぐん等の利用状況などを研究し、提案を今後の課題としたい。

総合支援学校の通学路安全確保について

田中 淳 議員

質問 国道117号と市道との交差点での信号機設置について、警察の指導及び市の考え方と方向性についてお聞かせ願いたい。

答弁 信号機設置のためには、現道の拡幅及び歩行者が信号待ちするための滞留所確保が必要。当市としては、信号機の設置も含め道路調査を行い、必要な対応を行っていききたい。

質問 道路改良をする場合の標準幅員と現況道路幅との関係はどう捉えているか、降雪時期を基準としてお聞かせ願いたい。

答弁 当該市道については、地元からの要望もいただいております。何らかの道路改良を行っていきたいと考えています。

質問 地元町内からも安全面について不安を感じているとのこ



総合支援学校入口の国道交差点

とだが、本年4月の総合支援学校開校に際して、安全の検証のプロセスと市道改良に踏み切らなかった理由についてお聞きします。また、検討結果によっては予算要望されていると思うが、予算の有無については。

答弁 当改良に当たっては技術的検討、交付金事業の導入が可能か検討する必要があった。予算の有無については、今後危険性が高いと判断された場合、児童生徒が安全に通行できるように当該道路の拡幅について、交付金事業の活用を含め、予算確保に努めていきたい。

質問 教育現場を預かる立場から見て、現在の通学路の安全性について不安は感じていないのか。状況調査の有無は。

教育長答弁 市長答弁と同じく、当該道路については道路改良を

行う方向で検討している。状況調査は今まではやっていない。

計画行政の運営について

山賀 一雄 議員

総合計画について

質問 後期基本計画の各分野別施策の実行状況をどのように検証・評価しているか。

答弁 文化施設の建設構想などの一部を除き、後期基本計画に掲載された事業は、概ね計画どおり進捗している。

質問 第5次総合計画策定のスケジュールはどうか。時間的余裕はあるのか。

答弁 本年秋頃、審議会を設置し遅れることのないよう平成27年度中に策定する。

質問 どのような考えで審議会に諮問するのか。

答弁 従来の考え方と同じく「市民のねがい」を基本理念とし、これまでの市政運営を理解されたいうえで、当市の進むべき方向、あるべき姿について審議されるよう諮問したい。

スポーツの振興について

質問 スポーツ推進審議会での事業評価はどのように行っているのか。

教育長答弁 年度末に、その年度の総括と次年度計画を審議しているが、大きな課題があるときは複数回開催し、十分な審議を行うこととしている。

質問 総合計画の個別計画としては、具体性に欠けるのではないか。

教育長答弁 施設整備は、大きな財政負担が必要なことから、第4次総合計画やスポーツ振興計画の趣旨を踏まえ、3年ごとの実施計画で整備を進めている。

質問 白山運動公園園体育施設の整備拡充についての見解を伺う。

答弁 これからも屋外体育施設の拠点として活用していきたい。第5次総合計画や次期スポーツ振興計画の中で検討したい。

質問 第3次整備計画として、総合計画、次期スポーツ振興計画に位置づけてはどうか。

教育長答弁 市長と同様に検討したいと考えている。

市民の家改修と発電記念館建設、一体的な就労支援について

阿部 正行 議員

質問 市民の家の改修方法について

答弁 現在の施設を使用しながら

ら隣接地に建設し、その後旧施設を取り壊す。建設については発電記念館との合築であることからJIRと協議したい。

質問 パネル展示について

答弁 発電記念館の展示と調整を図りながら検討したい。

質問 雪冷房について

答弁 費用対効果を考え検討したい。



市民の家

質問 発電記念館の内容について

答弁 信濃川発電所をPRする内容になると考える。

質問 発電記念館を活用した教育について

答弁 学校でのふるさと学習や公民館での地域学習等積極的な活用を期待したい。

質問 両施設のまちづくりの中の位置づけについて

答弁 両施設のそれぞれの目的

等を大事にし、互いに相乗効果を生みながら、市民はもとより市外の方からも利用いただき交流拠点になるよう期待したい。

質問 当市の一体的な就労支援状況について

答弁 平成25年度の生活保護申請は22件で、就労支援が必要な方は現在10人です。

質問 ハローワークとの取り組みについて

答弁 生活保護受給者は全国的に増加しているが、当市では直近3年間で支援者75人のうち45人が就労し20世帯が生活保護廃止の成果をあげているので、就労支援体制を継続したい。

質問 障がい者雇用と子育て中の女性の就労支援について

答弁 個別ケースワークや福祉サービス事業者と連携し支援に努めている。子育て中の女性を対象に、ひとり親家庭の教育訓練費用補助等実施している。

こども・子育て支援と原発再稼働について

長谷川有理 議員

質問 当市の子育てニーズの今後の核となるものは何か。

答弁 未満児保育の需要への対応が核となると考える。

質問 少子化の中での未満児保育需要増加対応は働く女性支援と一体的に行う必要があるが。

答弁 そのように認識する。

質問 当市の乳児傷害事件発生を受け、どう課題を解決するか。

答弁 情報収集、人権啓発・相談体制の充実、関係機関との緊密な連携を今後とも図る。

質問 平成24年県内の児童虐待相談978件中、0〜3歳児は186件・全体の19%。県は虐待を見過ごさないと乳幼児虐待防止研修事業を行い、県内全市町村は児童虐待防止ネットワークを設置。当市協議会で具体的な対策議論は進んでいるか。

答弁 仕組みを作ったから防止できるものではない。このような事件は多くが密室で発生している。事前に防ぐ事は難しい。

質問 「密室なので。家庭の問題なので。」は残念。実際に傷つけられた子ども、苦しんでいる家庭がある。子育て支援の課題としてしっかり取り組むべき。

答弁 身近な者がいかに早く気がつくか。情報が集まる仕組みを小千谷として作っていく。

質問 泉田知事は新規制基準を「世界基準に達していない」と批判し、制度の不備が放置され

ている中で自治体の対応は難しいと主張、また立地自治体でない南相馬市の福島原発事故被害を鑑みても中越地震被災地・豪雪地首長として小千谷を除外した立地自治体のみ再稼働判断を了とするのか。

答弁 知事とは見解の相違。南相馬市は不幸な例だが、そうならないよう立地自治体と規制委員会が判断するのでその判断を尊重する。



高場山マラソン

市長の政治姿勢について

吉原 正幸 議員

質問 谷井市長は平成18年11月に初当選され、平成22年には圧倒的大差で2期目の当選をされ谷井市政は8年目となりました。市長就任当初は畑違いの出身ということでも市長としての力量

を不安視する声も聞かれましたが、南部4小学校の統合・市立総合支援学校の開校、病院統合支援室の開設等、市民のため必要なこと、やるべきことはやるという公約どおり市政に取り組んでこられ、個人的にはその力量を高く評価するものですが、最近ちまたでは市長は今期で引退するのは、との声が聞かれますが、谷井市政で手掛けられたものには、まだ道半ばのものがあります。

代表的なものとして26年度設計、28年度オープンプン予定の市民の家・水力発電記念館の整備、28年度開院予定と公表された統合病院は「市民のため必要なこと、やるべきことはやる」という谷井市政の集大成だと思いますが、これらを成就されずに引退とは考えられない。11月に行われる市長選まで5か月を切った。3度目も出馬するという決意を聞かせてほしい。

答弁 私の市長としての業績を評価していただき光栄に思う。当市にとって大きな課題であった病院統合問題もほぼめどがついてきたことでもあり、ここで私が信頼する人に後事を託すのも良いのではとの助言も頂いて

いるが、一方では道半ばの仕事も幾つかあり目的を達するまで続けるべきとの責任も感じている。この後も皆様のご意見をお聞きしながら取るべき道を慎重に判断したい。もうしばらく約一か月程の間をいただきたい。

子ども医療費無料化、原発再稼働NOを

風間 健一 議員

質問 子どもの医療費の一部負担金の無料化をお願いしたい。

答弁 無料化は考えていない。

質問 冬季インフルエンザ予防のため子どもに30秒以上手を洗うように指導しても水洗いでは難しい。小学校の手洗い場に給湯設備の設置をお願いしたい。

教育長答弁 給湯設備の設置は考えていない。

質問 医療・介護総合法案が衆議院で可決しました。要支援者の訪問看護・通所介護は自治体の事業になり、各自治体間で介護サービスに格差が出るのが懸念されます。小千谷市はサービスの質を落とさず充実するようお願いしたい。

答弁 現状のサービス水準が維持できるよう検討している。

質問 画期的な大飯原発差し止め判決ができました。市長は「原発は電気の安定供給や経済発展に必要」と述べ「原発国富論」の立場ですが、この判決は「豊かな国土とそこに国民が根を下ろして生活していることが国富であり、原発事故によりこれを取り戻すことができなくなる」とが国富の喪失である」と断じています。市長はこの判決をどのように考えておられるのか。

答弁 私は当事者でないので否定も肯定もする立場にない。

質問 判決は「個人の生命、身体、精神及び生活に関する利益を奪う原発事故の具体的危険性が万が一でもあれば、その差し止めが認められるのは当然である」と述べております。東電に「柏崎刈羽原発再稼働NO」の市民の声を届けて頂きたい。

答弁 県や地元自治体、原子力規制委員会の再稼働の判断を尊重するので、行動はしない。



〈4月〉

- 3日 県市議会議長会春季定期総会（胎内市）
- 9日 議会報編集委員会
- 10日 総合支援学校開校式
- 14日 議会報編集委員会
- 24日 北信越市議会議長会定期総会（福井市）

〈5月〉

- 13日 宮城県名取市議会行政視察に来市
- 14日 愛媛県大洲市議会行政視察に来市
- 20日 議員協議会
- 23日 県特別豪雪地帯市町村議会協議会定期総会（上越市）
- 26日 水明会行政視察に出発（山形県上市市）
- 28日 全国市議会議長会定期総会（東京都）

〈6月〉

- 1日 全国植樹祭
- 3日 議会運営委員会
- 6日 上越新幹線活性化同盟会総会（新潟市）
- 10日 第2回定例会（本会議）
- 11日 議会報編集委員会
- 12日 常任委員会連合審査会
- 総務文教委員会

- 13日 民生産業委員会
- 24日 民生産業委員協議会

- 27日 議会報編集委員会
- 27日 議会運営委員会
- 本会議（第3日）
- 議員全員協議会
- 議員クラブ会

市議会を傍聴してみませんか

第3回定例会開催予定

- 9月1日(月) 第1日 議案上程説明
- 9月2日(火)～9月5日(金) 各常任委員会で審査
- 9月17日(水) 第2日 一般質問
- 9月18日(木) 予備日 一般質問(質問者が多い場合に開催)
- 9月22日(月) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(TEL83-3505)へお問い合わせください。

また、議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>



國松 哲明（小栗田）



55

『デジタル』の文字を見ない日は無いといっても過言ではなくなつて久しいが、アナログ育ちの私が一抹の寂しさを感じてしまふのは、やはり歳のせいであらうか。

私の住む町には、「小栗田写真クラブ」があり、春は日帰り、秋は一泊で気の合う仲間と撮影会と称してバスを仕立てて出かける。

今年の春の撮影会は、10年ぶりで2回目の上高地だったが、天候にも恵まれてすばらしい撮影会となった。そのバスの中の肴は、「何万画素有れば十分」とか、「また新しいカメラが発売される」などで、フィルムの話は出てこない。それもそのはずで、23人中3人しかフィルムが居な



いのだから仕方がない。少なくなつたとはいえ、フィルムを無くさずに供給し続けているメーカーには有り難く感謝したい。機械の進歩や記録の方法はこれからも変わっていくと思うが、それにも増して撮影会での行程の楽しさや、同じ所に行つてもそのときの景色の見え方に同じものはなく、これが写真のおもしろさであり、楽しさだと思ふ。近年は町外からの参加も増えて、人との出会いや交流も楽しみの一つになりつつあり、デジタル、アナログを問わず楽しめるのが有り難い。

さて、この秋の撮影会はどこに行こうか、悩みは尽きない。先日(の台風8号は、新潟県をはじめ、全国に甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになつた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。総務文教委員会は7月2日から、民生産業委員会は9日から沖繩に行政視察に行くことになっておりました。総務文教委員会は無事行政視察を終えることができましたが、民生産業委員会は台風のため、中止せざるをえなくなりました。

編集後記

山本道男議員が7月9日に病氣のため、永眠されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。山本道男議員は、小千谷市の職員として活躍されました。定年後、平成23年の選挙で当選され、2年間は民生産業委員として、その後、総務文教委員として活動されておりました。先日の台風8号は、新潟県をはじめ、全国に甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになつた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。総務文教委員会は7月2日から、民生産業委員会は9日から沖繩に行政視察に行くことになっておりました。総務文教委員会は無事行政視察を終えることができましたが、民生産業委員会は台風のため、中止せざるをえなくなりました。

これから梅雨明けに向かうわけですが、梅雨末期の豪雨は避けてもらいたいと念願しております。暑くなりますが、熱中症等にくれぐれもご注意ください。